

「平成21年度普及に移す成果」

8月上中旬出荷向けの黄色系コギク新品種「常陸サマーゴールド」 (品種登録出願中)

茨城県農業総合センター生物工学研究所・園芸研究所

1. 品種特性

- 1) 明るい黄色の花色で、葉は光沢のある照り葉である。
- 2) 草丈、分枝数、着蕾数が多くボリューム感がある。
- 3) 自然開花期は8月上中旬で、4月下旬定植で8月旧盆から盆明けに出荷が可能である。
- 4) コギクの代表的な病害の1つである白さび病に強い。

2. 作型(目標収量: 3,500~4,500本/a)

月 作型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
8月出荷				x								

(: さし芽, : 定植, x : 摘心, : 出荷)

3. 育苗

- 1) 親株はハウス内のビニールトンネルで越冬し、さし芽30~40日前に新芽を摘心したのち、発生したわき芽を10cm程度で採穂する。さし穂は4~5枚の葉をつけたものを用いる。
- 2) さし芽は排水性・保水性の良い無病の床土あるいはセルトレイ(200穴程度)に行う。3~4cm間隔で3cmくらいの深さにさす。
- 3) さし芽後は十分に灌水し、その後5~6日控える。さし芽後1週間はビニールと寒冷紗をかける。
- 4) 発根後、徐々に外気と日光に当てていく。

4. 施肥

- 1) 有機肥料や緩効性肥料を主体とした元肥を、窒素、リン酸、カリを成分で各1.5kg/a施用する。
- 2) 元肥と同時に完熟堆肥200kg/aを定植15日前までに施用し、十分に土壌混和しておく。

5. 定植・栽培管理

- 1) 基本はマルチ栽培で、畝間1.2~1.4m・株間10~12cm・条間30~40cmの2条植えとする。
- 2) 苗が十分に活着したら生長点を浅く確実に折り取って摘心し、側枝を伸長させる。
- 3) 5月以降、生育が揃った側枝を1株当たり3本残すように整枝する。
- 4) 草丈が20cm位に伸長したころ、フラワーネットを張る。
- 5) フラワーネットは伸長に応じて上げていく。この時、茎の中下位節から側枝が発生しやすいので注意する。



6. 病虫害防除

- 1) 無病苗を用いるとともに、病虫害の予防的防除を徹底する。
- 2) 連作を避け、窒素肥料の過多、排水不良に留意する。
- 3) わい化ウイルス病を発見したら抜き取り処分し、親株を更新する。

7. 収穫・調整

- 1) 切り前は販売先に応じたものとする。
- 2) 収穫は涼しい時間帯に行い、収穫後は萎れる前に水揚げを行う。



問い合わせ先

生物工学研究所 果樹・花き育種研究室 電話 0299(45)8330
園芸研究所 花き研究室 電話 0299(45)8341